



発行：「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」製作を支援するナガサキの会 TEL.090-3604-2301 (里) FAX.095-849-7131(三根)
製作委員会長崎事務局／長崎県映画センター 〒850-0024 長崎市大井手町24番地 TEL095-824-2974 FAX.824-2958

2004年夏、製作運動スタート！

昨年夏、伊藤市長を訪問し映画製作について説明するとともに、支援と協力をお願いをいたしました。引き続きこの場を借りて記者会見を行ない、この映画の製作運動がスタートしました。

この映画は秋月辰一郎医師の著書「長崎原爆記」・「死の同心円」と山下昭子さんの「夏雲の丘 - 病窓の被爆医師 -」を参考文献として、核兵器廃絶をテーマに二度と再び過ちが繰り返されないよう被爆地長崎から平和への願いを込めて世界に発信しようとするものです。同時に、この映画作りは製作費の大半を趣旨にご賛同いただける長崎を始め全国の方々から募って完成させるものです。



会見する呼びかけ人と製作委員会メンバー

目標 7,500 万円。秋より支援活動開始、年末には 1,200 万円に！

この製作運動の牽引力となる「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」製作を支援するナガサキの会が10月14日に発足し、世話人会を中心に製作支援の様々な活動を展開して来ました。長崎県・長崎市を始め経済、労働、医療、教育、宗教、福祉、被爆者、奉仕団体等幅広く支援を呼びかけながら、準備段階を経た11月初旬からの動きは12月12日の聖フランシスコ病院エリザベートホールでのシナリオ発表会と29人が参加した12月19日の浜市アーケードでの街頭宣伝で、昨年の活動はピークに達しました。

報道機関各社には活動時期に応じて取り上げていただきましたが、次第に関心も高まり、長崎新聞には賛同呼びかけ人や支援する会のメンバー、核廃絶を訴えられている方などを取材した応援メッセージが10回に渡って掲載され、この映画づくりへの期待が大きく膨らみました。また、日本経済新聞では初の全国版として取り上げられました。さらに、地元テレビ局の報道などで多くの方の知るところとなりました。

問い合わせも増え、年末年始も金融機関の休みの時以外は毎日、支援申込書がFAXや郵便で届けられ、少々手が回らない状態にもなりましたが、大変ありがたい新年を迎えることができました。



原爆資料館研修室にて「支援する会」発足



浜市アーケード長崎大丸前にて街頭宣伝

目標達成まで何卒ご支援お願いします！ ☎095-824-2974／長崎県映画センター内
製作支援金／郵便振替口座番号 01760-3-58294 口座名「アンゼラスの鐘」製作委員会長崎